

日本版CCRC構想の基本コンセプト（案）

1. 「健康でアクティブな生活」の実現

高齢者が、健康づくりとともに、社会活動・生涯学習への参加等により、健康でアクティブ（活動的）に生活することを目指す（支援プログラムの提供）。

2. 「継続的なケア」の確保

医療・介護が必要となった時に、終末期まで尊厳ある生活が送れる「継続的なケア」の体制を確保する。

3. 地域社会（多世代）との共働

地域社会に受け込み、地域貢献・多世代との共働を図ることができる環境を実現する。このため、移住者に対し、きめ細かな支援（事前相談、お試し居住、地元住民との積極的な共働など）を行う。

4. 居住者の参画・情報公開等による透明性の高い事業運営

事業運営において居住者の積極的な参画と情報公開等を通じて、高い透明性と安定性を確保する。

5. 関連制度や「地方創生特区」等の活用による政策支援

関連制度等のほか、「地方創生特区」や「地域再生計画」の活用による政策支援を検討。

日本版CCRCの制度イメージ（案）

地域の実情等に合わせて、多様な立地・住宅構造・サービス機能によるコミュニティを形成



